

○なぜ農業を

日本の食料自給率は年々低くなり、大部分を外国からの輸入に頼っています。他人事ではない日本の将来に不安を抱く中、無耕作で放置されている土地に目が行くように。「もっと就農者が増えれば自給率の問題が改善するかもしれない」と思い、自身も農業事業に取り組み、貢献したいと強く感じま

した。

すぐさま農業の勉強を始め、実際にブルーベリーや椎茸を栽培。農業を学ぶうちに天候に左右されない「植物工場」に興味を抱き、四年前から開設に乗り出しました。現在は露地でブルーベリーなどを栽培しているほか、植物工場「G Line」にてレタスやルッコラといった葉物野菜を育てています。

○G Lineの特徴は

植物工場とは、室内環境を機器によって制御することで通年での計画的栽培が可能な室内農業です。当社の「G Line」ではLED照明で生育を行います。赤、白、青、緑の光をバランスよく組み合わせること、太陽光で育てる場合よりも栄養価が豊富に。さらに、水に溶かした水耕栽培用の肥料だけでなく、「酸素ファイター」を導入し十分に酸素を供給しているため、収穫から数週間経ってもみずみずしく新鮮な野菜に育ちます。サラダやおひたしにするもよし、お肉に巻いてシャキシャキの食感を添えるもよしな白慢の野菜です。また、管理された室内なので虫が入り込まず農薬を使う必要がないことや、自然災害によるリスクが少ないのも良い点です。

G Lineのもう一つの特徴は空間の効率的な使用によって省スペースで栽培ができること。広大な敷地を確保しなくても空き家や空き倉庫のスペースがあれば栽培できます。長年建設業を営んできた当社の技術を發揮しています。

○伝えたいことは

食料問題を切り開く一助になればという思いで取り組んでいるため、設計施工はもちろんノウハウの提供も承り、農業に興味のある人を全力でサポートします。室内はコンピュータ管理ができるので、一週間の研修を受ければ栽培を始められます。

植物工場と聞くと化学的なイメージを持つ方が多いかもしれませんが、しかし実際は野菜が健やかに育つよう配慮されていて、安心して安全な品質のものが出来あがる農法です。是非一度見学に来て下さい。そうすれば、この農法の魅力を知っていただけたらと思います。

☆G Lineで育てた野菜は当社オンラインショップの他、近隣のヤマダストアや旬菜蔵でお買い求めいただけます。

シャキシャキ鮮度が長持ちする
美味しい野菜をお届け



④整備された空間で野菜を栽培

日章興産株式会社

所在地 揖保郡太子町竹広42-2
代表 三浦 一章
TEL 079-277-5070
HP <https://www.gline-farm.jp/>

